

# 保健総務課



## 保健総務課業務概要

### 1 地域保健の総合的な推進

船橋市地域保健推進協議会を開催し、地域保健対策に関する事項を協議した。また、医師・保健師・管理栄養士等を目指す学生の地域保健実習を行った。

### 2 厚生統計調査業務

厚生行政の施策等の基礎資料を得るため、人口動態調査・国民生活基礎調査などを実施した。なお、調査結果は本書の作成にも参考とした。

### 3 災害医療対策

医療救護体制の整備を進め、発災直後の応急医療だけでなく、避難所生活の長期化にも対応できるよう、感染症予防や心のケアなどを取り入れた災害医療対策を図る。

### 4 骨髄移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）の登録や移植に関する市民の理解を深めるため、イベント等を通じ啓発活動を実施している。

また、平成28年4月1日から骨髄等移植ドナーとドナーが従事している事業所に対して奨励金を交付している。

### 5 健康危機管理対策

感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物その他何らかの原因により住民の生命や健康を脅かす健康被害について、その発生予防に努めるとともに、発生時には被害の拡大を抑えるため情報の収集及び提供・医療救護・防疫対策等の対応を図る。

また、平時より地域の医療機関や県等との連携を図り健康危機管理体制の整備に努める。

### 6 医事薬事業務

医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。

また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から、医療法や医薬品医療機器等法等に適合し、適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

さらに、船橋市医療安全支援センターで市民等から医療に係る相談、苦情等を電話等で受け付けた。

### 7 検査業務

検査業務は、臨床検査、微生物学的検査、食品衛生検査、環境衛生検査に大きく分け実施している。

臨床検査としては、原子爆弾被爆者に対する健康診断としての尿検査、結核の予防対策及び接触者健診としてのクオンティフェロン（QFT）検査及び喀痰検査、エイズ予防対策としてHIV検査を実施した。また、HIV検査受付者のうち、クラミジア抗体検査、梅毒抗体検査を希望者に対して実施した。

微生物学的検査としては、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に

基づく病原微生物検査、感染症等の予防を目的とした食品関係従事者等の腸内細菌検査を実施した。

食品衛生検査としては、食品衛生法に基づき衛生指導課が収去した食品について、微生物学的検査と理化学的検査を実施した。微生物学的検査については、細菌数及び病原起因菌について検査を実施した。理化学的検査については、保存料・甘味料等の食品添加物について検査を実施した。

また、食中毒及び有症苦情等に関して微生物学検査を実施した。

環境衛生検査としては、レジオネラ属菌の感染予防を目的として公衆浴場等の検査を実施した。

## 8 結核予防事業

船橋市の結核新登録患者数は81名（平成29年）で、罹患率は人口10万対12.8と前年の22.3を大きく下回った。しかし、国の目指している10以下には達していない状況にある。

保健所では結核患者数、罹患率の減少に向けて以下のような事業を行っている。

患者発生時には速やかに患者を訪問し、患者指導及び情報収集、調査を行い感染の疑いがある者に対しては結核接触者健康診断を実施している。治療の必要な患者には、適正な医療の普及を図り、申請に基づき医療費の公費負担を行っている。また、結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止すると共に、多剤耐性結核の発生を予防するため、地域DOTS支援（直接服薬支援）事業として、保健師やDOTS支援員による訪問DOTS、訪問できない患者に対しては薬局DOTSを導入し、個々の患者に合わせた服薬支援を行い、治療の完遂に努めている。

## 9 感染症予防事業

平成11年4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の予防及びまん延防止のための事業を実施している。

感染症発生動向調査事業については同法第3章による施策として、感染症発生情報の収集と分析、公開することを目的とした事業として位置づけられており、医療関係者の協力のもと患者情報をオンラインシステムで登録している。

また、3類感染症に伴う調査を24件、その他施設内発生に伴う調査を51件実施し、まん延防止対策に努めた。

蚊媒介感染症対策事業として、「0のつく日はボウフラ・ゼロ」運動を実施し、蚊の幼虫の発生源対策の啓発を行い、また蚊の定点モニタリングとして密度調査及びデングウイルス・チクングニアウイルス・ジカウイルス保有調査を行った。

## 10 エイズ予防事業

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針に基づき、HIV感染の予防と早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努めている。

啓発事業として、正しい知識の普及啓発を推進するため、船橋市エイズ講習会等講師派遣事業を開始。希望のあった学校等を対象に、講師を派遣した。また、市内高等学校学園祭等での啓発活動を実施している。HIV検査については、月2回の即日検査、うち4回は休日検査を実施するとともに検査日に併せてエイズカウンセラーによる相談を実施している。

## 1.1 肝炎ウイルス検査事業

全国の肝炎持続感染者はB型が110万人～140万人、C型が190万人～230万人と推定されるが、感染時期が明確でないことや自覚症状がないことが多く適切な時期に治療を受ける機会がなく本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多いことが問題となっている。

保健所では肝炎ウイルスに感染リスクを有する者、受診機会のない市民を対象に肝炎ウイルス検査を実施し、潜在している感染者を早期発見できるよう努めている。陽性者は早期治療につながるよう医療機関を紹介している。また肝炎等に関する相談業務も実施している。

## 1.2 千葉県肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）への公費による助成制度を実施している。

## 1.3 難病対策事業

難病法に基づく指定難病医療費（特定医療費）助成制度、千葉県特定疾患治療研究事業及び千葉県先天性血液凝固因子障害等治療研究事業等の千葉県実施の事業に係る窓口業務並びにそれに伴う事務処理を行っている。

難病患者及びその家族に対する相談支援については、窓口・電話・訪問による相談及び、関係機関と連携をとりながら療養者の状況やニーズに応じた支援を行っているほか、地域の保健師や看護師等を訪問相談員として委嘱し、訪問支援を行っている。

また、「難病患者と家族のつどい」、個別医療相談等を企画、実施しているほか、難病患者の療養環境を取り巻く様々な課題に対応するため、平成25年度に地域の神経内科医及び在宅診療に携わる医師と意見交換会等を開催し、さらに26年度には介護支援専門員、訪問看護、病院ケースワーカーの代表者を加え、「ふなばし神経難病サポートネットワーク」を立上げ、課題の解決や医療連携のあり方について検討している。

## 1.4 小児慢性特定疾病児童等支援事業

慢性疾患を抱え、その治療が長期間にわたる子どもやその家族について、児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病医療費の支給に係る窓口業務やそれに伴う事務処理を行っている。

また、児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病児童等自立支援事業に係る相談支援等を行っている。さらに、平成27年度より地域における小児慢性特定疾病児童等の支援内容等につき、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、特別支援学校等教育機関職員、福祉・療育行政機関職員、保健行政機関職員と「慢性疾病児童等の地域支援に関する意見交換会」を実施し連携を図っている。

## 1.5 難病患者援助金支給事業

難病患者の費用負担の軽減を図り、難病患者の福祉の増進に資することを目的とする市の単独事業として、千葉県特定医療費（指定難病）受給者証、船橋市小児慢性特定疾病医療受給者証または船橋市小児指定疾病医療費助成登録証等を交付された方を対象に、年2回、通院（月1日以上通院もしくは月20日未満の入院）、入院（月20日以上連続した入院）に応じて、支給している。

## 1 6 原子爆弾被爆者援護事業

地方自治法に基づく千葉県知事の事務処理の特例及び協定により認定申請受付や被爆者手帳の交付、各種手当支給申請の窓口業務を行うほか、保健所を会場にした原子爆弾被爆者健康診断を年 2 回実施している。また、市の単独事業として、原爆被爆者見舞金の支給を行っている。

## 1 7 精神保健福祉事業

市民の精神保健の向上、精神障害者の福祉の推進を図るため、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく相談、訪問を実施するとともに、警察官の通報等の受理対応や精神障害者社会復帰事業、普及啓発や家族支援事業など各種事業を展開し、入院届等の事務、成年後見申し立てや利用支援事業等を行っている。

そして精神障害への正しい知識の普及のため、当課が事務局となり船橋市精神保健福祉推進協議会による各種住民啓発事業を実施している。

## 1 地域保健の総合的な推進

### (1) 船橋市地域保健推進協議会

母子・成人保健及び感染症対策等に係る施策及び保健所の運営等に関することを協議するために設置し協議会を開催した。

開催年月	主な協議内容
平成 30 年 1 月	母子保健部会の設置及び地域保健対策に関する主要な事業報告等について

### (2) 学生実習実施状況

職 種	学校数 (校)	人 数 (人)	日 数 (日)
【看護師・保健師】	9	74	59
【医師】	2	8	3
【栄養士】	5	8	23
【歯科衛生士】	1	27	16
計	17	117	101

## 2 衛生統計調査

(1)～(3)における船橋市の数値については、厚生労働省人口動態調査の調査票情報を利用して船橋市が集計している。

### (1) 人口動態総覧

(単位：人)

区分 年次	出生				死亡								自然増加					
	実数	男	女	率 (人口 千対)	実数	男	女	率 (人口 千対)	乳児死亡 (1年未満)				新生児死亡 (生後28日未満)				実数	率 (人口 千対)
									実数	男	女	率 (出生 千対)	実数	男	女	率 (出生 千対)		
27	5,298	2,677	2,621	8.5	4,735	2,661	2,074	7.6	11	4	7	2.1	7	3	4	1.3	563	0.9
28	5,118	2,684	2,434	8.3	4,839	2,702	2,137	7.9	7	5	2	1.4	5	4	1	1.0	279	0.5
29	4,857	2,517	2,340	7.7	4,981	2,788	2,193	7.9	10	3	7	2.1	2	1	1	0.4	-124	-0.2

区分 年次	死産				周産期死亡				婚姻		離婚		人口
	実数	自然	人工	率 (出産 千対)	総数	妊娠満 22週 以後の 死産	早期 新生児	率 (出産 千対)	件数 (組)	率 (人口 千対)	件数 (組)	率 (人口 千対)	
27	130	72	58	23.9	17	13	4	3.2	3,403	5.5	1,081	1.74	622,890
28	126	76	50	24.0	32	27	5	6.2	3,381	5.5	1,034	1.68	614,485
29	123	72	51	24.7	17	15	2	3.5	3,370	5.3	981	1.55	631,973

※ 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの。

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生1,000対、死産率は出産（出生＋死産）1,000対。

※ 周産期死亡率は出産（出生＋妊娠満22週以降の死産）1,000対。

※ 人口は千葉県毎月常住人口（10月1日現在）を基に算出。



## (2) 死亡統計

### ① 死亡順位の年次推移及び千葉県・全国との比較

順位	平成 27 年 (船橋市)					平成 28 年 (船橋市)					平成 29 年 (船橋市)				
	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)
		総数	男	女			総数	男	女			総数	男	女	
1	悪性新生物	1,533	939	594	246.1	悪性新生物	1,478	904	574	235.7	悪性新生物	1,549	962	587	245.1
2	心疾患	867	471	396	139.2	心疾患	885	489	396	141.1	心疾患	692	360	332	109.5
3	肺炎	433	241	192	69.5	肺炎	425	233	192	67.8	脳血管疾患	385	221	164	60.9
4	脳血管疾患	326	172	154	52.3	脳血管疾患	359	186	173	57.3	肝疾患	363	209	154	57.4
5	老衰	201	45	156	32.3	老衰	269	71	198	42.9	肺炎	298	160	138	47.2
6	不慮の事故	108	73	35	17.3	不慮の事故	110	67	43	17.5	老衰	276	61	215	43.7
7	自殺	102	71	31	16.4	腎不全	85	41	44	13.6	不慮の事故	130	81	49	20.6
8	腎不全	79	42	37	12.7	自殺	75	54	21	12.0	高血圧疾患	128	65	63	20.3
9	大動脈瘤及び 動脈硬化	65	35	30	10.4	大動脈瘤及び 動脈硬化	70	35	35	11.2	糖尿病	97	71	26	15.3
10	肝疾患	61	40	21	9.8	肝疾患	68	42	26	10.8	その他の症状 徴候及び異常 臨検現・異常 検査現でま かた分類され ないもの	94	64	30	14.9

※ 平成 29 年の船橋市の死亡率は、平成 29 年 10 月 1 日現在千葉県毎月常住人口を基に算出。

順位	平成 29 年 (千葉県)				平成 29 年 (全国)			
	死 因	死亡数 (人)		死亡率 (人口/10万人対)	死 因	死亡数 (人)		死亡率 (人口/10万人対)
		総数				総数		
1	悪性新生物	17,222		275.3	悪性新生物	373,334		294.6
2	心疾患	9,347		149.4	心疾患	204,837		161.7
3	脳血管疾患	4,706		75.2	脳血管疾患	109,880		86.7
4	肺炎	4,598		73.5	老衰	101,396		80.0
5	老衰	4,131		66.0	肺炎	96,841		76.4
6	不慮の事故	1,482		23.7	不慮の事故	40,329		31.8
7	誤嚥性肺炎	1,270		20.3	誤嚥性肺炎	35,788		28.2
8	自殺	990		15.8	腎不全	25,134		19.8
9	腎不全	963		15.4	自殺	20,465		16.2
10	血管性及び原因不明 の認知症	764		12.2	血管性及び原因不明 の認知症	19,546		15.4

②部位別悪性新生物死亡状況（平成 29 年）

（単位：人）

区 分	死 亡 数		
	計	男 性	女 性
総 数	1,549	962	587
口唇・口腔及び咽頭	41	37	4
食道	69	60	9
胃	196	141	55
結腸	122	68	54
直腸S状結腸移行部及び直腸	62	39	23
肝及び肝内胆管	101	74	27
胆のう及びその他の胆道	58	37	21
膵	139	81	58
喉頭	4	4	-
気管・気管支及び肺	320	234	86
皮膚	4	1	3
乳房	88	1	87
子宮	35	・	35
卵巣	22	・	22
前立腺	40	40	・
膀胱	32	24	8
中枢神経系	10	2	8
悪性リンパ腫	46	25	21
白血病	35	25	10
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	20	11	9
その他	105	58	47

### (3) 出生統計

平成 29 年の出生数は 4,857 人で出生率（人口千対）は 7.6 である。

#### ① 合計特殊出生率の年次推移

(単位：人)

区分	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
船橋市	1.35	1.36	1.38	1.37	1.39	1.36	1.39	1.37	1.32
千葉県	1.31	1.34	1.31	1.31	1.33	1.32	1.38	1.35	1.34
全国	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.44

※ 合計特殊出生率とは、15～49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

※ 千葉県の公表値である。

#### ② 出生児の性、体重別（平成 29 年）

(単位：人)

性別	体重 (g)	999 以下	1,000～ 1,499	1,500～ 1,999	2,000～ 2,499	2,500～ 2,999	3,000～ 3,499	3,500～ 3,999	4,000 以上	計
	男	4	18	32	147	869	1,107	302	38	
女	4	7	24	195	940	977	177	13	2,340	
計	8	25	56	345	1,809	2,084	479	51	4,857	

### (4) 母体保護法統計

母体保護法の規定に基づいて医師から届出のあった不妊手術及び人工妊娠中絶の報告をもとに作成したもので、平成 29 年度不妊手術の報告件数は 1 件、人工妊娠中絶については 623 件であった。

#### 人工妊娠中絶年齢・妊娠週数別件数

(単位：件)

区分	平成 27年 度	平成 28年 度	平成 29年 度	20 歳 未満	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳
7 週以前	336	339	283	15	52	54	65	71	23	3
8～11 週	338	350	283	31	90	56	42	40	23	1
12～15 週	37	28	26	5	6	7	3	3	1	1
16～19 週	24	31	21	3	3	4	3	6	2	-
20～21 週	10	7	10	1	2	2	3	-	2	-
計	745	755	623	55	153	123	116	120	51	5

※ 管内の医師より届出されたもので、届出数は管外者も含む。

## (5) その他の統計等

### 統計調査等の状況

調査名	調査目的	平成 29 年度実績
1. 国民生活基礎調査 (世帯票)	国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するため実施。	調査日 6月1日 対象地区 5地区 対象世帯 283世帯
2. 衛生行政報告例	中核市における衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料とする。	毎年5月末までに報告
3. 地域保健・健康増進事業報告	地域住民の健康保持及び増進のために実施している保健事業を把握し、地域保健施策の効率・効果的な推進の基礎資料とする。	毎年6月末までに報告
4. 社会保障・人口問題基本調査	「生活と支え合いに関する調査」 人々の生活、家族関係と社会経済状態の実態、社会保障給付などの公的な給付と社会的ネットワークなどの私的な支援とが果たしている機能を把握するため実施。	調査日 7月1日 対象地区 1地区 対象世帯 40世帯

### 3 災害医療対策

災害時における医療救護活動及び公衆衛生活動等の体制整備を図るため、平成 29 年度より地域災害医療対策会議を設置し、会議を開催した。

開催年月	主な内容
平成 29 年 4 月	1. 船橋市災害医療対策会議の設置目的について 2. これまでの経緯について 3. 課題と論点について 4. 今後の進め方について
平成 30 年 2 月	1. (仮称) 医療救護所設置の検討について 2. 災害医療対策訓練について

#### 4 骨髄移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者（ドナー）の登録や移植の推進を図るため、啓発活動及びドナーとドナーが従事する国内の事業所に奨励金を支給している。

##### (1)啓発事業

船橋市骨髄移植ドナー支援事業奨励金交付事業周知用チラシやドナー登録啓発物品の設置や配布をしている。

年度	主な場所
平成 29 年度	市内献血ルーム、健康まつり、イオンモール船橋啓発イベント、成人の日式典、市役所献血併行型骨髄バンク登録会、市役所ロビーパネル展

##### (2)船橋市骨髄移植ドナー支援事業奨励金交付状況

支給額 ドナー 1日につき 20,000 円（7日が上限）  
ドナーが従事する事業所 1日につき 10,000 円（7日が上限）

年度	区分	ドナー（件）	ドナーが従事する事業所（件）	金額（円）
平成 28 年度		6	2	980,000
平成 29 年度		2	1	350,000

#### 5 健康危機管理対策

地域医療施策について、専門的、学術的観点から知見を集積し、対応策の検討等を行うために地域医療専門部会を開催した。

開催年月	主な内容
平成 30 年 3 月	新型インフルエンザ等に対応した診療体制について ・国内発生早期を想定した帰国者・接触者外来実働訓練 ・県内感染期の診療体制の実働訓練 ・訓練の振り返り（検証・意見交換）

#### 6 医事薬事業務

医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。

また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から医療法や医薬品医療機器等法等に適合し適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

さらに、医療施設に対する厚生統計を実施した。

(1)医 事

①医療機関等の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分 年度	施 設 数												病 床 数									
	病 院			一 般 診 療 所		歯 科 診 療 所		助 産 所		施 術 所			歯 科 技 工 所	病 院					診 療 所			
	計	地 域 医 療 支 援	一 般 ・ 療 養	精 神	有 床	無 床	有 床	無 床	有 床	無 床	は り ・ き ゆう	マ ッ サ ー ジ ・ 指 圧		あ ん 摩	柔 道 整 復	計	一 般	療 養	結 核	精 神	感 染	一 般
平成 27 年度	22	1	18	3	9	349	-	326	-	12		428	213	86	4,446	2,633	549	-	1,260	4	102	-
平成 28 年度	22	1	18	3	9	348	-	332	-	13		444	218	88	4,469	2,669	549	-	1,247	4	104	-
平成 29 年度	22	1	18	3	8	351	-	329	-	14		456	235	89	4,493	2,690	552	-	1,247	4	102	-

※ 病床数は、使用許可済数を計上している。

②医療機関等立入検査

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分 年度	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所	助 産 所	施 術 所	マ ッ サ ー ジ ・ 指 圧 ・ あ ん 摩 (は り ・ き ゆう)	(柔 道 整 復)	歯 科 技 工 所	衛 生 検 査 所	計	
											施設数
平成 29 年度	施設数	22	359	329	14	691	456	235	89	2	1,506
	立入 件数	23	36	27	1	28	8	20	0	1	116

※ ( ) は施術所の内訳。

(2)薬 事

①医薬品医療機器等法関係施設の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分 年度	薬 局	販 店 売 業 舗	販 卸 売 業 売	製 造 業 薬 局 製 剤	業 業 製 造 販 売	薬 局 製 剤 製 造 販 売	等 販 売 業 医 療 機 器	高 度 管 理 等 貸 与 業	医 療 機 器 高 度 管 理	計
平成 27 年度	施設数	208	78	35	23	23	231	105	703	
平成 28 年度	施設数	211	80	35	23	23	248	114	734	
平成 29 年度	施設数	219	85	34	22	22	257	122	761	
	立入 件数	113	30	8	9	9	67	28	264	

## ②毒物及び劇物取締法関係施設の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

年度	区分	毒物劇物販売業	毒物劇物業務上取扱者(要届出)	計
	平成 27 年度	施設数	138	8
平成 28 年度	施設数	137	7	144
平成 29 年度	施設数	135	8	143
	立入件数	42	3	45

## (3)免許申請

(単位：件)

年度	区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	臨床検査技師	衛生検査技師	診療放射線技師	理学療法士	作業療法士	歯科技工士	視能訓練士	登録販売者	計
	平成 27 年度		40	16	118	61	6	351	46	24	1	17	93	29	-	2	53
平成 28 年度		29	19	145	56	17	361	33	33	3	16	116	48	-	2	50	928
平成 29 年度		33	12	130	61	13	356	34	29	0	15	100	41	-	5	59	888
	新規	18	4	70	25	5	190	19	20	-	9	75	28	-	3	49	515

## (4)医療従事者数

### ①医師、看護師等の数

(単位：人)

年	区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
平成 24 年		807	439	1,385	154	158	3,036	646	392	86
平成 26 年		871	442	1,477	165	166	3,309	626	404	97
平成 28 年		914	476	1,562	159	159	3,441	561	429	86

※ 隔年毎に調査(各年 12 月 31 日現在)。

保健師、助産師、看護師及び准看護師数は医療従事者数である。

### ②年次別医師、歯科医師及び薬剤師の人口 10 万対率

(単位：人)

年	区分	医師			歯科医師			薬剤師		
		船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国
平成 24 年		131.2	178.8	237.8	71.4	82.6	80.4	225.2	198.6	219.6
平成 26 年		136.0	182.9	233.6	69.3	81.3	79.4	176.6	165.0	170.0
平成 28 年		140.3	189.9	240.1	74.6	81.7	80.0	189.0	176.2	181.3

※ 隔年毎に調査(各年 12 月 31 日現在)。

## (5) 船橋市医療安全支援センター

医療安全相談窓口を設置し、市民の医療に関する相談・苦情を受け付けた。また、船橋市医療安全推進協議会、医療安全管理者等に対する研修会等を実施した。

### ① 医療安全相談窓口実績

相談内容	件数
医療費に関すること	51
医療行為・医療内容・治療内容に関すること	134
健康相談に関すること	149
医療機関紹介・案内に関すること	114
医療事故・過誤の判断に関すること	32
転院の相談に関すること	26
医薬品に関すること	39
医療機関従事者の接遇に関すること	55
説明不足に関すること	12
カルテ開示に関すること	4
診療拒否に関すること	16
セカンドオピニオンに関すること	4
上記以外の医療関連法規に関すること	9
その他	103
計	748

### ② 協議会・研修会等実績

研修会等名称	回数	人数	内容
船橋市医療安全推進協議会	1	委員 5 名	実績報告、活動計画
船橋市医療安全推進協議会事例検討部会	1	委員 5 名	事例検討
医療安全研修会	1	参加者 51 名	演題「病院における医療安全管理対策について」
病院患者相談窓口 担当者連絡会議	2	参加者 34 名	病院からの発表、グループワーク
		参加者 31 名	病院からの発表、グループワーク

## (6) 薬物乱用防止対策

近年、大麻乱用者が増加し、一般市民層、特に青少年や主婦層にまで広がっており、社会的な問題となっている。

千葉県薬物乱用防止指導員船橋市地区協議会には 38 名の薬物乱用防止指導員がおり、地域啓発活動を実施している。「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間中に、指導員の協力を得て、街頭啓発活動を実施した。



## (7) 厚生統計

### 統計調査等の状況

調査名	調査目的	平成 29 年度実績
1. 医療施設調査	病院及び診療所の分布と整備の実態を明らかにし、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料とする。	動態調査 毎月報告 対象 開設、廃止、変更等であった医療機関 静態調査 3年ごとの10月1日 対象 全ての医療機関
2. 病院報告	病院における患者の利用状況を把握し、医療行政の基礎資料とする。	毎月報告 対象 市内 22 医療機関
3. 患者調査	病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得る。	入院及び外来患者 10月中旬の3日間のうち医療機関ごとに定める1日 退院患者 9月の1か月間
4. 受療行動調査	病院を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、医療行政の基礎資料を得る。	実施日 10月中旬の3日間のうち病院ごとに定める1日 対象 無作為抽出した一般病院を利用する患者

## 7 検査業務

### (1) 臨床検査

原子爆弾被爆者の健康診断としての尿検査、エイズ予防対策としての HIV 検査、性感染症予防対策としての梅毒抗体検査、クラミジア抗体検査、結核予防対策としてのクオンティフェロン（QFT）検査、結核菌塗抹培養検査を実施した。

(単位：件)

区分		年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
尿	糖		40	29	26
	蛋白		40	29	26
	潜血		40	29	26
	ウロビリノーゲン		40	29	26
喀痰	結核菌	塗抹鏡検	4	6	4
		培養	4	6	4
血液	血清	QFT	348	710	416
		HIV	597	663	628
		クラミジア抗体	462	530	498
		梅毒抗体	505	585	541

### (2) 細菌検査

#### ① 感染症発生時及び検疫通報等に伴う病原細菌検査実施状況

医療機関からの感染症の届出による患者・経過者検査及び接触者等について検査を実施した。

(単位：件)

区分 年度	便			項目			検出状況
	患者・ 経過者	家族・ 接触者	その他	赤痢菌	パラチフ ス A 菌	腸管出血性 大腸菌	腸管出血性大腸菌
平成 27 年度	17	19	-	-	3	33	5
平成 28 年度	19	50	2	8	-	63	3
平成 29 年度	20	39	-	3	-	56	-

#### ② 腸内細菌検査実施状況

感染症の予防を目的とした食品関係従事者、給食従事者及び水道施設従事者等の腸内細菌検査を実施した。

(単位：件)

区分 年度	項目					検出状況
	赤痢菌	チフス菌	パラチフス A 菌	サルモネラ 属菌	腸管出血性 大腸菌 0157	サルモネラ 属菌
平成 27 年度	4,863	4,839	4,839	4,856	4,296	-
平成 28 年度	5,647	5,637	5,637	5,638	4,960	9
平成 29 年度	2,094	2,085	2,085	2,086	1,652	4

### (3) 食品衛生検査

食品の安全性を確保する目的で、細菌数及び病原起因菌等の微生物学的検査並びに保存料・甘味料等の食品添加物について理化学的検査を実施した。また、乳類については乳類の規格検査を実施した。

#### ① 収去食品細菌検査状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳									
				一般細菌数 (生菌数)	大腸菌群	大腸菌	球菌	黄色ブドウ 菌	属菌	サルモネラ	セレウス菌	オ	腸炎ビブリ
平成 27 年度		152	437	152	30	122	95	5	3	8	19	3	
平成 28 年度		178	509	178	23	155	119	4	3	6	19	2	
平成 29 年度		228	621	218	36	189	142	5	-	5	23	3	

#### ② 収去食品理化学検査実施状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳					
				ナトリウム サツカリン	ソルビン酸	安息香酸	酸	デヒドロ酢	亜硝酸根
平成 27 年度		37	110	31	27	22	22	6	2
平成 28 年度		36	102	30	26	20	20	6	-
平成 29 年度		54	134	47	25	25	25	7	5

#### ③ 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳					
				一般細菌数 (生菌数)	大腸菌群	比重	酸度	分	無脂乳固形
平成 27 年度		6	26	4	6	4	4	4	4
平成 28 年度		4	24	4	4	4	4	4	4
平成 29 年度		5	30	5	5	5	5	5	5

#### ④施設拭取り検査実施状況

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳			
			大腸菌群	大腸菌	黄色ブドウ球菌	セレウス菌
平成 27 年度	25	55	10	15	15	15
平成 28 年度	15	45	-	15	15	15
平成 29 年度	20	40	-	20	20	-

#### (4)環境衛生検査

公衆浴場等の衛生状態を確認するために、レジオネラ属菌等の検査を実施した。

(単位：件)

区分 年度	レジオネラ属菌 (培養法)	レジオネラ属菌 (迅速法)	一般細菌数 (生菌数)	大腸菌	大腸菌群	過マンガン酸カリウム消費量
平成 27 年度	38	20	-	-	18	20
平成 28 年度	42	14	-	-	13	13
平成 29 年度	49	15	6	6	12	12

#### (5)食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

食中毒事件及び苦情等に係る検査について、微生物学的検査を実施した。

(単位：件)

区 分		計	食品	便	拭取り	その他
平成 27 年度	検体数	217	10	149	58	-
	項目数	3,384	134	2,264	986	-
平成 28 年度	検体数	222	13	138	70	1
	項目数	2,491	130	1,340	1,020	1
平成 29 年度	検体数	85	2	58	24	1
	項目数	1,262	2	849	410	1
項 目 内 訳	サルモネラ属菌	71	-	47	24	-
	黄色ブドウ球菌	71	-	47	24	-
	腸炎ビブリオ	71	-	47	24	-
	腸管出血性大腸菌	72	1	47	24	-
	その他の病原性大腸菌	71	-	47	24	-
	ウェルシュ菌	71	-	47	24	-
	セレウス菌	71	-	47	24	-
	エルシニア エンテロコリチカ	71	-	47	24	-
	カンピロバクター ジェジュニ/コリ	82	1	56	24	1
	ナグビブリオ	71	-	47	24	-
	コレラ菌	71	-	47	24	-
赤痢菌	71	-	47	24	-	

	チフス菌	71	-	47	24	-
	パラチフス A 菌	71	-	47	24	-
	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア	71	-	47	24	-
	ブレジモナス シゲロイデス	71	-	47	24	-
	ビブリオ フルビアリス	71	-	47	24	-
	ノロウイルス	39	-	37	2	-
	サポウイルス	4	-	4	-	-
検 出 状 況	サルモネラ属菌	2	・	2	-	・
	黄色ブドウ球菌	8	・	8	-	・
	その他の病原性大腸菌	16	・	16	-	・
	ウェルシュ菌	3	・	3	-	・
	セレウス菌	1	・	1	-	・
	カンピロバクター ジュジュニ/コリ	11	-	10	-	1
	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア	1	・	1	-	・
	ノロウイルス	21	・	21	-	・

#### (6)原因不明の胃腸炎の検査実施状況

原因不明の胃腸炎として届出のあったものについて、病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
検体数		41	22	4
項目数		93	22	4
項 目 内 訳	腸管出血性大腸菌	3	-	-
	A 群ロタウイルス	20	-	-
	アデノウイルス	15	-	-
	サポウイルス	14	-	-
	ノロウイルス	41	22	4
検 出 状 況	A 群ロタウイルス	2	・	・
	アデノウイルス	2	・	・
	サポウイルス	4	・	・
	ノロウイルス	27	22	2
	(再掲)ノロウイルス 遺伝子型別解析	GⅡ.2	21	2
	GⅡ.6	1	-	

(7)院内感染対策の検査実施状況

院内感染の病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	施設	検体数	項目内訳
				バンコマイシン耐性腸球菌 (パルスフィールドゲル電気泳動法)
平成 28 年度		1	8	8
平成 29 年度		-	-	-

(8)精度管理業務

検査結果の信頼性確保目的で、内部精度管理及び外部精度管理を実施した。

①内部精度管理実施状況

(単位：件)

区分		年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
細菌検査	添加回収試験	一般細菌数 (生菌数)	20	22	25
	陽性対照試験	大腸菌群	12	7	9
		大腸菌	16	19	21
		黄色ブドウ球菌	12	14	16
		サルモネラ属菌	1	1	1
		セレウス菌	1	1	-
		腸炎ビブリオ	3	3	3
		クロストリジウム属菌	1	1	1
	繰り返し試験	一般細菌数 (生菌数)	5	7	6
理化学検査	添加回収試験	サッカリンナトリウム	4	4	6
		ソルビン酸	4	4	4
		タール色素	1	-	2
		亜硝酸根	1	1	1
		安息香酸	3	3	4
		デヒドロ酢酸	3	3	4
	繰り返し試験	サッカリンナトリウム	-	-	1
		ソルビン酸	1	1	1
		亜硝酸根	-	-	1
		安息香酸	1	1	1
		デヒドロ酢酸	1	1	1

## ②外部精度管理調査実施状況

(単位：件)

区分		年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般財団法人 食品薬品安全 センター	細菌検査	一般細菌数	1	1	1
		大腸菌群	1	1	1
		大腸菌	-	1	1
		黄色ブドウ球菌	1	1	1
		サルモネラ属菌	1	1	1
		腸内細菌科菌群	-	1	1
	理化学検査	タール色素	1	1	1
		安息香酸	1	1	1
厚生労働省	腸管出血性大腸菌	-	-	1	
千葉県 衛生研究所	細菌検査	1	1	1	
	ノロウイルス	1	1	1	
	A 群ロタウイルス	1	-	-	
日水製薬株式 会社	レジオネラ属菌	-	1	1	

## 8 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、結核患者の登録管理、医療費の公費負担、服薬支援、健康診断、指定医療機関の指定等の業務を行っている。

### (1)登録者の年次推移

(単位：人)

区分 \ 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
管内人口	614,657	619,214	622,823	627,073	631,973
新登録患者数	115	115	112	140	81
罹患率 (人口10万対)	18.7	18.5	18.0	22.3	12.8
年末時登録者数	224	235	248	285	263
有病率 (人口10万対)	12.2	11.3	12.4	15.8	9.2
結核死亡者数	8	8	8	8	1
結核死亡率 (人口10万対)	1.3	1.3	1.3	1.3	0.2

(2)新登録患者数 (活動性分類別)

(単位：人)

年	区分	活動性結核					肺外結核	罹患者率 (人口十萬対)	肺結核塗抹陽性率 (人口十萬対)	潜伏性結核感染症 (別掲)
		総数	肺結核活動性			その他性				
			総数	陽性塗抹	結核菌の陽性					
平成 27 年		112	89	49	26	14	23	18.0	7.9	43
平成 28 年		140	114	49	31	34	26	22.3	7.8	118
平成 29 年		81	72	29	27	16	9	12.8	4.6	53

(3)新登録患者数 (年齢階級別)

(単位：人)

年	区分	総数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70歳以上
			4歳	9歳	14歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	
平成 27 年		112	—	1	—	5	8	9	10	13	20	46
平成 28 年		140	1	—	4	17	20	15	17	9	13	44
平成 29 年		81	1	—	—	6	11	3	11	10	9	30

(4)年末現在登録者数 (活動性分類別)

(単位：人)

年	区分	登録者総数	活動性結核				肺外結核	不活動性結核	活動性不明	有病率 (人口十萬対)	潜伏性結核感染症 (別掲)
			肺結核活動性			その他性					
			総数	陽性塗抹	陽性菌						
平成 27 年		248	63	33	18	12	14	163	8	12.4	104
平成 28 年		285	85	37	24	24	14	177	9	15.8	196
平成 29 年		263	52	20	27	5	6	190	15	9.2	182

(5)年末現在登録者数 (年齢階級別)

(単位：人)

年	区分	総数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70歳以上
			4歳	9歳	14歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	
平成 27 年		248	—	1	3	7	23	26	32	30	47	79
平成 28 年		285	1	—	2	21	38	33	36	29	48	77
平成 29 年		263	2	—	1	26	41	21	31	30	35	76



(6)結核医療費公費負担診査状況（37条の2）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成27年度	207	204	80	80	69	67	30	30	27	26	1	1
平成28年度	343	332	195	187	93	90	40	40	14	14	1	1
平成29年度	176	174	86	84	43	43	39	39	8	8	0	0

(7)結核入院勧告診査件数（20条1項）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成27年度	53	53	10	10	19	19	17	17	7	7	0	0
平成28年度	46	46	16	16	10	10	15	15	2	2	3	3
平成29年度	32	32	7	7	9	9	12	12	4	4	0	0

(8)結核入院勧告延長診査件数（20条4項）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成27年度	106	106	14	14	39	39	27	27	26	26	0	0
平成28年度	88	88	20	20	21	21	37	37	4	4	6	6
平成29年度	62	60	6	6	19	19	29	27	8	8	0	0

(9)精密検査（管理検診）実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	胸部X線撮影	喀痰検査者		検診結果		
				塗抹	培養	要医療	要観察	異常なし
平成27年度	461	425	423	57	57	4	2	419
平成28年度	520	458	457	60	60	0	1	457
平成29年度	700	631	630	62	62	1	0	630
保健所		145	145	0	0	0	0	145
委託分		358	357	60	60	0	0	358
その他		128	128	2	2	1	0	127

(10) 接触者健康診断実施状況

(単位：人)

年度	区分	対象者数	受診者数	ツ反検査	QFT検査	胸部X線検査	喀痰検査		健診結果			
							塗抹	培養	要医療	発病のおそれ	潜在性結核感染症	異常なし
平成27年度		917	865	8	488	573	6	6	9	3	54	766
平成28年度		1,400	1,357	90	993	1,030	7	7	34	16	103	1,093
平成29年度		1,058	977	98	667	644	9	9	3	8	23	943
保健所 委託分			633	2	416	419	4	4	0	4	14	615
			344	96	251	225	5	5	3	4	9	328

(11) 定期健康診断実施状況

(単位：人)

年度	区分	対象者数	受診者数	受診率	間接撮影者数	直接撮影者数	喀痰検査者数	検査結果	
								発見患者数	患者発見率
平成27年度		171,935	94,487	55.0%	13,686	80,801	7	2	0.002%
平成28年度		175,404	92,052	52.5%	12,945	79,107	7	2	0.002%
平成29年度		178,832	114,380	64.0%	13,438	100,942	3	3	0.003%
内 訳	事業者	18,082	17,599	97.3%	4,653	12,946	2	0	0.0%
	学生	9,133	9,098	99.6%	8,352	746	0	0	0.0%
	施設	1,957	1,889	96.5%	433	1,456	1	0	0.0%
	市町村	149,660	85,794	57.3%	0	85,794	0	3	0.003%

※健康づくり課が実施する肺がん検診と結核検診の65歳以上の受診者を含む。

(12) 結核患者管理・支援状況

① 結核患者個別支援状況

登録された結核患者について、早期の治療終了に向けて入院中の院内面接、家庭訪問等により個別支援（DOTS）・指導を実施した。

年度	区分	病院内面接・家庭訪問		電話	保健所内面接
		実人数（人）	延べ件数（件）	延べ件数（件）	延べ件数（件）
平成27年度		104	354	876	304
平成28年度		114	304	1,393	435
平成29年度		67	175	656	186

② 船橋市地域DOTS支援事業

ア. 地域DOTSカンファレンス（個別支援計画の策定）

患者の通院治療開始時期に併せてDOTSサービス内容について検討する。

船橋市では独自のリスクアセスメント票により患者の治療中断リスクを評価し、支援内容を決定する指針にしている。

## 個別支援計画のリスク別内訳

(単位：人)

開催回数	リスクランク	DOTS カンファレンス検討者数
月1回診査会終了後実施	Aタイプ	0
	Bタイプ	33
	Cタイプ	114
	その他	9
	計	156

※ 潜在性結核感染症含む

※ A：原則毎日 DOTS を要す。

B：週単位の支援を要す。

C：月1回程度の連絡確認。

その他：転院等により地域 DOTS を開始しなかった患者。

## イ. DOTS 支援員派遣事業

在宅で療養している結核患者に保健師、看護師、薬剤師が家庭訪問による服薬支援を行う。

### 支援員派遣の実際

(支援員数：各年度末現在)

年度	区分	支援員数 (人)	患者数 (実人数、単位：人)	DOTS 実施回数 (延べ回数)
平成 27 年度		7	11	98
平成 28 年度		6	17	104
平成 29 年度		9	11	48

## ウ. 薬局 DOTS

薬局にて薬剤師が DOTS を行う「船橋市薬局 DOTS」を平成 19 年 9 月から開始した。

年度	区分	薬局数 (件)	患者数 (実人数、単位：人)	DOTS 実施回数 (延べ回数)
平成 27 年度		29	79	253
平成 28 年度		45	175	814
平成 29 年度		34	84	359

### ③コホート検討会 (平成 28 年 1 月～12 月登録患者)

目的：全結核患者の治療終了後、治療成績を評価し、また脱落・中断患者の検討を行うことにより支援の強化を図る。

開催日時：第1回 平成 29 年 7 月 6 日 (木) 15:00～16:00

第2回 平成 30 年 3 月 15 日 (木) 15:00～16:00

評価内容：治療成績評価、治療状況評価 (受療状況、治療中断のリスク)

保健師による支援評価 (初回面接、退院前訪問、在宅服薬確認)

構成員：有識者、保健所長ほか保健所職員

## 治療成績

年	区分	対象者数(人)	治癒(%)	治療完了(%)	その他(%)	死亡(%)	治療失敗(%)	脱落中断(%)	治療成功(%)
平成 27 年		96	22.9	44.8	14.6	12.5	0.0	5.2	67.7
平成 28 年		97	36.1	26.8	22.7	12.4	0.0	2.1	62.9
平成 29 年		121	28.9	47.1	15.6	7.4	0.8	0.0	76.0

### ④結核病床を有する医療機関との連携会議

結核の入院病床を有する「化学療法研究所附属病院（平成 29 年 9 月より、国際医療福祉大学市川病院）」と「千葉東病院」との DOTS カンファレンスに参加し、患者の治療終了に向けて、退院後の問題点等を共有した。

国際医療福祉大学市川病院 : 12 回/年  
 千葉東病院 : 4 回/年

### ⑤結核定期病状調査事業

結核患者について、その治療状況、病状の経過、菌情報等を定期的に医療機関より報告を受けることで、治療成功、管理の完結を見届ける。調査件数 15 件。

## 9 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき感染症の発生・拡大への対策を行っている。

### (1) 新感染症・1 類感染症届出数

発生なし。

### (2) 2 類感染症届出数

(単位：人)

年	区分	総数	急性灰白髄炎	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	結核
平成 27 年		127	—	—	—	127
平成 28 年		220	—	—	—	220
平成 29 年		118	—	—	—	118

### (3) 3 類感染症発生届出数

(単位：人)

年	区分	総数	腸管出血性大腸菌感染症	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
平成 27 年		14	13	—	—	—	1
平成 28 年		17	16	—	1	—	—
平成 29 年		12	12	—	—	—	—

(4) 3類感染症発生に伴う健康調査並びに検便実施状況 (単位：調査・人、検便・件)

区分 年度	総数		腸管出血性 大腸菌感染症		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便
平成 27 年度	18	33	16	28	—	—	—	—	—	—	2	5
平成 28 年度	47	62	39	55	—	—	8	7	—	—	—	—
平成 29 年度	538	51	536	49	—	—	2	2	—	—	—	—

(5) 4類感染症届出数 (単位：人)

疾患名	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
E 型肝炎	4	3	4
A 型肝炎	1	2	2
デング熱	—	1	—
レジオネラ症	9	4	3
コクシジオイデス症	—	—	1

※無症状病原体保有者含む。

※上記以外の疾患については3年間届出なし。

(6) 5類感染症発生状況

①全数把握対象感染症届出数 (単位：人)

疾患名		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
アメーバ赤痢		3	6	5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		10	5	2
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）		1	5	5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	2	4
後天性免疫不全症候群		3	4	3
(内訳)	無症候性キャリア	(2)	(3)	(3)
	AIDS	(1)	(1)	(—)
	その他	(—)	(—)	(—)
ジアルジア症		1	—	—
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	—	—
侵襲性髄膜炎菌感染症		—	—	—
侵襲性肺炎球菌感染症		9	6	13
水痘（入院例）		—	—	1
梅毒		8	15	15
破傷風		2	—	—
風しん		1	2	—

麻しん	—	3	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	—	1	—

※上記以外の疾患については3年間届出なし。

## ②感染症発生動向調査事業に基づく定点報告

### ア. 患者定点医療機関数

(単位：機関)

区分	インフルエンザ	小児科	疑似症	眼科	性感染症	基幹
医療機関数	17	11	34	3	4	—

### イ. 定点把握対象疾患報告数

(単位：人)

疾患名		平成27年	平成28年	平成29年
1	RSウイルス感染症	277	455	472
2	咽頭結膜熱	432	266	560
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,916	2,900	2,428
4	感染性胃腸炎	4,079	5,066	2,964
5	水痘	340	328	415
6	手足口病	1,355	643	1,540
7	伝染性紅斑	645	212	78
8	突発性発しん	448	404	351
9	百日咳	—	—	1
10	ヘルパンギーナ	472	700	408
11	流行性耳下腺炎	217	365	497
12	インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	3,584	6,150	6,944
13	急性出血性結膜炎	—	—	1
14	流行性角結膜炎	75	114	115
15	性器クラミジア感染症	108	136	133
16	性器ヘルペスウイルス感染症	38	40	47
17	尖形コンジローマ	10	7	19
18	淋菌感染症	6	15	14

※疾患1～14は、週報告対象疾患。

※疾患15～18は、月報告対象疾患。

※基幹定点報告対象疾患については、当保健所管内には報告対象となる医療機関がないため除外。

### (7) 管外での感染症発生に伴う調査状況

(単位：調査・人、検便・件)

年度	区分	調査件数	数 伴う 染症 発生 に 調査 人	管外 での 感 染 症 発 生 に 伴 う 調 査 数	自 主 申 告 に よ る 調 査 数	調 査 数 及 び 同 行 者 に 伴 う 接 触 者 に 伴 う 調 査 数	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 に 伴 う 調 査 数	検 便 実 施 数	菌陽性者数		
									感 染 症 性 大 腸 菌	腸 管 出 血	コ レ ラ
平成27年度		7		8	—		—	5	—	—	—
平成28年度		9		9	—		—	9	—	—	—
平成29年度		7		9	—		—	10	—	—	—

### (8) インフルエンザ様疾患届出状況

年度	区分	届出施設数	届出患者数	措 置			
				学級閉鎖数	学年閉鎖数	休 校	その他
平成 27 年度		252	2,043	198	48	6	—
平成 28 年度		224	2,323	205	18	1	—
平成 29 年度		343	2,966	317	13	13	—

### (9) 感染症発生に伴う個別指導状況 (延べ数)

(単位：件)

区分	指導内容	訪 問	面 接	電 話
	2 類感染症 (結核を除く)	—	—	—
	3 類感染症	18	21	125
	4 類感染症	5	—	25
	5 類感染症	1	—	7
	管外発生	5	8	108
	施設内発生	7	3	180
	計	36	32	445

### (10) 研修会の開催状況

月 日	主 な 内 容
平成 29 年 6 月 12 日	テーマ：「防護服着脱訓練」 講 師：保健所職員 場 所：保健福祉センター大会議室 対 象：市職員 25 名参加
平成 29 年 12 月 11 日	平成 29 年度高齢者施設向け感染症対策研修会 講 師：IC-FuNKY (船橋・習志野地区 ICN 地域連携会) 場 所：保健福祉センター2 階大会議室 対 象：高齢者施設職員 105 名参加
平成 29 年 11 月 10 日	新型インフルエンザ等対応訓練 (地域医療機能推進機構船橋中央病院、習志野保健所合同訓練) 場 所：地域医療機能推進機構船橋中央病院 対 象：習志野保健所、病院職員、市職員等 35 名参加
平成 30 年 3 月 22 日	平成 29 年度船橋市新型インフルエンザ等病院実動訓練 場 所：船橋総合病院 参加者：訓練参加 19 名、訓練見学 19 名

### (11) 蚊媒介感染症予防対策事業

#### ①蚊の密度調査及びウイルス保有調査

平成 26 年夏、約 70 年ぶりにデング熱の国内感染が確認されたことを受けて、媒介蚊であるヒトスジシマカの生息状況を調査するため、長津川調整池をモニタリング場所として 5

月から10月までの6か月間、蚊を捕獲し、ヒトスジシマカの密度調査とデングウイルス及びチクングニアウイルス・ジカウイルス保有調査を行った。調査結果については、船橋市ホームページに随時掲載した。

密度調査 : 11回  
 ウイルス保有調査 : 11回 (すべて陰性)

## ②「0のつく日はボウフラ・ゼロ」運動

「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針（厚生労働省告示第二百六十号平成二七年四月二八日）」に基づき、船橋市職員及び市民一人ひとりが蚊媒介感染症予防に対する意識を高め、誰にでも実行可能な対策を行うことにより、蚊の発生を抑え、蚊媒介感染症のまん延を防止することを目的として、4月から8月の10、20、30日は、水のたまった空き缶や植木鉢の受け皿など、ヒトスジシマカの幼虫が発生しやすい場所を発見して片付ける日と定め、「0（ゼロ）のつく日は、ボウフラ0（ゼロ）」をキャッチフレーズに掲げ、船橋市の関係各課を通じ、広く市民に普及啓発を図るとともに、蚊の幼虫が発生しにくい環境づくりを市民と行政が一体となって進めていくよう、ポスターの作成・配布や船橋市ホームページなどにより啓発活動を行った。

## 10 エイズ予防事業

エイズ予防事業では正しい性行動を取れるように、またHIV陽性者やエイズ患者に対する偏見をなくすために様々な機会を利用して正しい知識の普及を行っている。

平成29年度は、学校等を対象としたエイズ講習会等講師派遣事業として、市内4校に対し講師を派遣、生徒を対象にエイズ講習会を実施した。

また、疾患の早期発見とまん延防止を目的として、HIV検査（即日検査）を月2回実施し、休日検査を年4回（6・9・12・3月）実施。検査日にエイズカウンセラーによる相談を実施している。

### (1) 啓発活動

#### ① 講習会の開催

月 日	主 な 内 容
平成29年7月18日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講習会を実施した。 内 容：「性感染症・エイズについて」 講 師：千葉大学医学部附属病院 感染症内科医師 谷口俊文 先生 場 所：千葉県立船橋古和釜高等学校 対象者：1～3年生 637人参加
平成29年9月11日	中学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講習会を実施した。 内 容：「性感染症の予防・エイズの予防」 講 師：(女子) 船橋地区助産師会 栗島寿恵 先生 (男子) 保健総務課 (保健師) 山本有里 場 所：金杉台中学校 対象者：3年生 33人参加
平成29年11月20日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講習会を実施した。



	<p>内 容：「UPDATE！エイズのイメージを変えよう」</p> <p>講 師：エイズカウンセラー 石川雅子 先生</p> <p>場 所：千葉県立船橋高等学校定時制</p> <p>対象者：2年次生・4年次生 79人参加</p>
平成30年2月8日	<p>高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講演会を実施した。</p> <p>内 容：「性感染症とその予防について」</p> <p>講 師：千葉大学医学部附属病院 感染症内科医師 櫻井隆之 先生</p> <p>場 所：市立船橋高等学校</p> <p>対象者：1年生・教職員 432人参加</p>

## ②市立船橋高等学校学園祭（α祭）における啓発活動

月 日	主 な 内 容
平成29年9月21日 (準備)	内 容：エイズの基礎知識に関するパネルの展示、ビデオ上映、パンフレットの配布。
平成29年9月22日	<p>養護教諭、保健委員会の生徒と共同で啓発活動を行った。</p> <p>場 所：市立船橋高等学校</p>
平成29年9月23日	対象者：校内学生・教員 両日で約314人参加

## ③世界エイズデーに伴う啓発活動

月 日	主 な 内 容
平成29年11月1日 ～12月9日	<p>平成29年度世界エイズデーに伴うエイズ予防に関する普及・啓発事業の一環として広報及びHIV検査の啓発活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ふなばし（11月15日号）</li> <li>・ホームページ（11月1日～12月8日）</li> <li>・OKビル電光掲示板（11月26日～12月9日）</li> </ul>
平成29年11月20日 ～12月8日	<p>内 容：パネル展（エイズ啓発パネルの展示にて、市民への正しい知識の啓発活動を実施。）</p> <p>場 所：保健福祉センター 1階 地域交流スペース</p>
平成29年11月30日	<p>世界エイズデーinふなばし 庁舎内キャンペーン</p> <p>内 容：保健所職員によるエイズ啓発用ティッシュ等の配布</p> <p>場 所：市役所1階ロビー</p>
平成29年12月1日	<p>世界エイズデーinふなばし 街頭キャンペーン</p> <p>内 容：市立船橋高等学校 JRC 同好会と保健所職員によるエイズ啓発用ティッシュ、パンフレット、検査日程などの配布。東葉高等学校軽音楽部・吹奏楽部によるミニコンサート。</p> <p>場 所：JR 船橋駅北口広場</p>

#### ④所内におけるパンフレット等の配布

月 日	主 な 内 容
通年	保健所 4 階診療スペース エイズ相談・HIV 検査日程表他パンフレット配布
平成 30 年 1 月 8 日	成人式にて新成人にエイズ予防に関するポケットティッシュを配布 (約 4,400 個)

### (2)検査事業

#### ①H I V検査

(単位：件)

年度	区分	回数	検査人数 (男)		検査人数 (女)	合 計
			検査人数 (男)	検査人数 (女)		
平成 27 年度	HIV 検査	23	408 (0)	189 (0)	597 (0)	
	休日検査 (再)	4	143	53	196	
平成 28 年度	HIV 検査	24	466 (3)	197 (0)	663 (3)	
	休日検査 (再)	4	164 (2)	47	211 (2)	
平成 29 年度	HIV 検査	24	435 (2)	193 (0)	628 (2)	
	休日検査 (再)	4	139 (0)	58	197 (0)	

※ ( ) 内は要医療で再掲。

※ 6 月検査普及週間、12 月世界エイズデーのイベント検査として実施。

#### ②梅毒・クラミジア抗体検査

(単位：件)

年度	区分	男 性	女 性	合 計
		検査数	検査数	検査数
平成 27 年度	梅毒抗体検査数	340 (4)	165 (1)	505 (5)
	クラミジア抗体検査数	315 (52)	147 (26)	462 (78)
平成 28 年度	梅毒抗体検査数	401 (7)	184 (4)	585 (11)
	クラミジア抗体検査数	377 (58)	153 (36)	530 (94)
平成 29 年度	梅毒抗体検査数	373 (5)	168 (0)	541 (5)
	クラミジア抗体検査数	351 (49)	147 (32)	498 (81)

※ ( ) 内は抗体検査で陽性反応のあった者。要医療かは検査の性質上不明。

### (3)相談事業

#### ①相談者の区分 (実数)

##### ア. 年次推移

(単位：件)

年度	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
平成 27 年度		84	11	51	10	135	21
平成 28 年度		115	50	56	31	171	81
平成 29 年度		103	50	63	32	166	82

イ. 平成 29 年度相談者の区分内訳（実数）

（単位：件）

相談者	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
同性間性行為による感染を心配する者		4	—	—	—	4	—
異性間性行為による感染を心配する者		23	1	31	2	54	3
その他の性行為による感染を心配する者		37	1	16	2	53	3
輸血による感染を心配する者		1	—	—	—	1	—
家族、友人の感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
母子感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
医療機関内感染を心配する者		1	—	4	—	5	—
日常生活での感染を心配する者		3	—	2	—	5	—
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者		12	1	5	—	17	1
その他		22	47	5	28	27	75
合 計		103	50	63	32	166	82
カウンセラーによる相談（再掲）		45	—	23	—	68	—

②相談内容（延べ数）

ア. 年次推移

（単位：件）

年度	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
平成 27 年度		124	21	90	12	214	33
平成 28 年度		186	50	93	34	279	84
平成 29 年度		180	56	105	35	285	91

イ. 平成 29 年度相談内容の内訳（延べ数）

（単位：件）

相談内容	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
エイズウイルス・疫学に関すること		1	—	1	—	2	—
患者・感染者の発生状況に関すること		1	1	—	—	1	1
症状・発生機序に関すること		42	1	19	—	61	1
検査に関すること		39	1	35	2	74	3
診断（方法）・治療に関すること		9	—	2	—	11	—
感染経路に関すること		30	—	20	—	50	—
社会の差別や偏見に関すること		2	—	—	—	2	—
行政のエイズ対策に関すること		4	—	2	—	6	—
感染症予防法、施策等に関すること		2	—	—	—	2	—
その他		50	53	26	33	76	86
合 計		180	56	105	35	285	91
カウンセラーによる相談（再掲）		87	—	39	—	126	—

## 1 1 肝炎ウイルス検査事業

肝炎ウイルスに感染リスクを有する者、受診機会のない市民を対象に肝炎ウイルス検査を実施し、潜在している感染者の早期発見に努めている。陽性者は早期治療へつながるよう医療機関へ紹介している。また肝炎、フィブリノゲン製剤等に関する相談業務も実施している。

### (1) 平成29年度検査事業（B型・C型肝炎ウイルス検査）

(単位:件)

項目	区分	男性	女性	合計
検査数		10	11	21
B型陽性者		—	—	—
C型陽性者		—	—	—

### (2) 相談事業

#### ① 相談件数(実数)

(単位:件)

年 度	件 数 (実数)
平成 27 年度	8
平成 28 年度	6
平成 29 年度	6

## 1 2 千葉県肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎患者のインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成することにより、将来の肝硬変・肝がんの予防及び肝炎の感染防止、ひいては県民の健康の保持・増進を図ることを目的として申請を受付けている。

### 肝炎治療受給者証申請状況

(単位:件)

年度	区分	申請件数	認定者数
平成 27 年度		599	582
平成 28 年度		438	428
平成 29 年度		370	362

## 1 3 難病対策事業

### (1) 指定難病医療費助成制度

平成27年1月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき千葉県が実施する指定難病医療費（特定医療費）助成制度の窓口業務及びそれに伴う事務処理を

行い、難病の患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び難病の患者の療養生活の質の維持向上を図っている。平成 30 年 4 月から対象疾病が 330 疾病から 331 疾病に拡大された。  
(単位：人)

年度	受給者数
平成 27 年度	4,236
平成 28 年度	4,377
平成 29 年度	4,108

※特定疾患受給者数を含む。

## (2) 難病相談事業

### ① 在宅療養支援計画策定・評価事業

(単位：人)

年度	区分	支援計画策定実施件数	支援計画評価実施件数	構 成 員 延 べ 人 員				
				医師	保健師	看護師	ケアマネジャー	その他
平成 27 年度		12	12	8	4	29	10	70
平成 28 年度		16	16	5	16	18	15	91
平成 29 年度		20	20	4	14	25	14	103

### ② 訪問相談員派遣事業

(単位：件)

年度	区分	訪問相談実施回数	訪 問 相 談 従 事 者 延 人 員				
			保健師	看護師	介護福祉士	栄養士	その他
平成 27 年度		230	50	73	38	20	49
平成 28 年度		257	60	80	34	38	45
平成 29 年度		254	99	62	24	27	42

### ③ 講演会・医療相談事業

実施時期	実施会場	対象疾患・参加人数	実 施 内 容
平成 29 年 5 月 19 日	保健福祉センター	脊髄小脳変性症の患者及び家族 計 63 名	専門医と理学療法士による講演と交流会
平成 29 年 6 月 26 日	保健福祉センター	神経難病患者及び家族 計 33 名	歯科医による講演と交流会
平成 29 年 10 月 19 日	保健福祉センター	進行性核上性麻痺、パーキンソン病、大脳皮質基底核変性症の患者及び家族 計 78 名	理学療法士と言語聴覚士による講演と交流会
平成 30 年 3 月 5 日	保健福祉センター	神経難病患者及び家族 計 5 名	専門医と社会福祉士による個別相談

#### ④訪問相談員育成事業

実施時期	対象者	延人員(名)	実施内容
平成 29 年 4 月 26 日	訪問相談員 (看護師等)	14	保健と福祉の総合相談窓口について等
平成 29 年 11 月 2 日	訪問相談員 (看護師等)	9	事例検討等

#### ⑤保健所保健師活動状況

(単位：件)

年度	家庭訪問		窓口相談		電話相談	
	実数	延べ件数	実数	延べ件数	実数	延べ件数
平成 27 年度	66	124	23	31	201	450
平成 28 年度	52	121	51	71	107	508
平成 29 年度	64	193	63	77	251	859

#### ⑥神経難病患者療養支援に係る意見交換会 (ふなばし神経難病サポートネットワーク)

実施時期	実施会場	参加人数	実施内容
平成 29 年 6 月 29 日	保健福祉センター	神経内科医 4 名 船橋市医師会理事 1 名 介護支援専門員 2 名 看護師 1 名 ソーシャルワーカー 1 名 船橋市保健所他 13 名	パーキンソン病の地域医療連携について
平成 29 年 11 月 30 日	保健福祉センター	医師 4 名 神経内科医 4 名 船橋市医師会理事 1 名 介護支援専門員 5 名 看護師 8 名 ソーシャルワーカー 4 名 相談員 1 名 薬剤師 3 名 リハビリ職 10 名 社会福祉士 2 名 介護福祉士 6 名 保健師 2 名 船橋市保健所 10 名	ALS の多職種連携についての講演、ディスカッション

平成 30 年 2 月 22 日	保健福祉センター	神経内科医 4 名 船橋市医師会理事 1 名 介護支援専門員 1 名 看護師 2 名 ソーシャルワーカー 1 名 船橋市保健所 13 名	神経難病の地域医療連携 について
---------------------	----------	---	---------------------

### (3) 千葉県先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子障害等患者の治療に係る医療保険等の自己負担分を治療研究事業として公費負担することにより、患者の医療費の負担の軽減を図っている。

(単位：件)

年 度	受 給 者 数
平成 27 年度	10
平成 28 年度	12
平成 29 年度	14

### 1.4 小児慢性特定疾病児童等支援事業

小児の慢性疾病で治療が長期にわたり保護者の医療負担も高額となる特定疾病にかかっている児童の医療給付を行う。なお、小児慢性特定疾病医療費支給事業（国事業）に該当しなかった児童に対し、小児指定疾病医療費助成事業（市事業）を実施している。

#### (1) 小児慢性特定疾病医療費支給事業及び船橋市小児指定疾病医療費助成事業受給者の状況

(単位：人)

疾患名	年度	平成 29 年度	
		国事業	市事業
1. 悪性新生物		72	1
2. 慢性腎疾患		40	18
3. 慢性呼吸器疾患		19	17
4. 慢性心疾患		122	12
5. 内分泌疾患		142	4
6. 膠原病		15	0
7. 糖尿病		27	1
8. 先天性代謝異常		18	0
9. 血友病等血液疾患		13	2
10. 免疫疾患		5	0
11. 神経・筋疾患		50	1
12. 慢性消化器疾患		36	1
13. 染色体又は遺伝子の変化に伴う症候群		8	11
14. 皮膚疾患		4	0
計		571	68

## (2) 小児慢性特定疾病審査会

(単位：人)

年度	区分	開催回数	審査人数	承認	不承認
平成 27 年度		12	366	364 (110)	2
平成 28 年度		12	307	306 (106)	1
平成 29 年度		12	307	306 (70)	1

※ ( ) は小児指定疾病医療費助成事業受給者の承認数。

## (3) 自立支援相談件数

平成 27 年 1 月の児童福祉法改正により、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業が法に位置づけられ、相談支援や意見交換会を実施している。

(単位：件)

年度	区分	窓口相談		電話相談	
		実数	延べ件数	実数	延べ件数
平成 27 年度		9	9	10	11
平成 28 年度		28	30	20	24
平成 29 年度		57	64	51	67

## (4) 慢性疾病児童等の地域支援に関する意見交換会

実施時期	実施会場	参加人数	実施内容
平成 29 年 6 月 22 日	保健福祉センター	医師 3 名 歯科医師 1 名 薬剤師 1 名 訪問看護師 1 名 教育機関 3 名 福祉・療育行政機関 4 名 保健行政機関 6 名	医師講話「病床をもつ医療機関の慢性 疾病児への支援について」 就学に関する事例の共有 今後の医ケア児への国・市の動向
平成 30 年 2 月 8 日	保健福祉センター	医師 3 名 訪問看護師 1 名 教育機関 4 名 福祉・療育行政機関 6 名 保健行政機関 6 名	アンケート結果報告 入園・就学等の相談に関すること 今後の小慢及び医ケア児等への国・市 の動向について



## 1.5 難病患者援助金支給事業

特定医療費（指定難病）受給者証、船橋市小児慢性特定疾病医療受給者証または船橋市小児指定疾病医療費助成登録証等を交付されている患者に対し、入院 10,000 円（月 20 日以上入院）、通院 5,000 円（月 1 日以上通院）を申請により支給している。

### 難病患者援助金支給状況

（単位：件（＝月数））

年度	区分	通院	入院
平成 27 年度		32,744	1,509
平成 28 年度		34,496	1,384
平成 29 年度		35,179	1,388

## 1.6 原子爆弾被爆者援護事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾被爆者への手帳の交付や、健康の保持・生活の維持のための各種手当の申請を受け付けた。

また、原子爆弾被爆者に対し、見舞金を支給している。

### (1) 被爆者健康手帳交付状況

（各年 3 月 31 日現在 単位：人）

年度	区分	新規	転入	転出	死亡	本年度末 手帳交付数
平成 27 年度		—	1	1	8	256(7)
平成 28 年度		1	1	2	13	242(9)
平成 29 年度		0	2	2	15	226(9)

※（ ）内は被爆者健康診断受診者証交付数。

### (2) 被爆者健康診断実施状況

（各年 3 月 31 日現在 単位：人）

年度	区分	施設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成 27 年度	保健所	前期	263	20	7.6	9
		後期	252	20	7.9	7
	委託医療機関		—	40	—	36
平成 28 年度	保健所	前期	251	17	6.8	2
		後期	249	13	5.2	1
	委託医療機関		—	38	—	36
平成 29 年度	保健所	前期	238	15	6.3	3
		後期	224	11	4.9	1
	委託医療機関		—	40	—	37

### (3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

(各年3月31日現在 単位：件)

区分	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
医療特別手当		9	8	7
特別手当		1	1	2
原子爆弾小頭症手当		—	—	—
健康管理手当		196	185	171
保健手当		10	8	8
総数		216	202	188
介護手当		—	—	—
健康手当		206	194	180
葬祭料		13	8	13

※ 健康手当は県単独事業であり、総数に含まず。

### (4) 原爆被爆者見舞金支給状況

区分	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
支給者数		248	233	220

## 1.7 精神保健福祉事業

### (1) 相談状況

精神保健福祉法第 47 条の規定に基づき、市長が指定した精神科医師（相談医）、精神保健福祉士、保健師等により精神保健福祉に関する相談・訪問指導業務を実施した。

- 精神科医師による相談  
毎月 4 回
- 精神保健福祉士・保健師による相談  
電話・来所相談を随時実施
- 精神保健福祉士・保健師による訪問  
受診勧奨、受療援助、生活指導等を目的として実施

### 精神保健福祉来所相談・訪問指導件数

(単位：件※)

年度	区分	実数	性別内訳		延べ数
			男	女	
平成 27 年度		473	225	248	1,104
平成 28 年度		504	257	247	1,217
平成 29 年度		428	194	234	1,039

※以下内訳中⑤精神科医師による相談件数を含む。

【内 訳】

①平成 29 年度男女別年齢別来所相談・訪問指導件数

(単位:件※)

区分	実数	男	女	延べ数	男	女	年 齢				
							20歳未満	20～39歳	40～64歳	65歳以上	不明
来所	240	113	127	371	159	212	17	142	171	40	1
訪問	188	81	107	668	295	373	2	100	484	82	0
計	428	194	234	1,039	454	585	19	242	655	122	1

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

②平成 29 年度来所相談・訪問指導実施状況 (相談の種別)

(単位:件※)

区分	総数	相談の種別						主たる問題																
		診療に関すること	社会復帰	生活支援	手帳・自立支援医療	その他の相談	精神疾患	アルコール	覚醒剤	その他の中毒	ギャンブル	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	摂食障害の相談	てんかん	(再掲)					その他の相談		
																	引きこもりの相談	発達障害	自殺関連	(再)自殺者の遺族	犯罪被害		災害	
来所	男	159	67	21	33	1	37	92	12	3	-	-	19	5	1	-	2	(14)	(6)	(3)	(-)	(-)	(-)	25
	女	212	79	24	47	2	60	124	3	-	-	1	36	4	3	1	3	(7)	(8)	(8)	(-)	(-)	(-)	37
	計	371	146	45	80	3	97	216	15	3	-	1	55	9	4	1	5	(21)	(14)	(11)	(-)	(-)	(-)	62
訪問	男	295	80	30	155	-	30	263	8	2	1	-	11	-	1	-	-	(-)	(12)	(10)	(-)	(-)	(-)	9
	女	373	65	38	240	-	30	340	-	2	-	-	21	-	-	-	-	(-)	(1)	(3)	(-)	(-)	(-)	10
	計	668	145	68	395	-	60	603	8	4	1	-	32	-	1	-	-	(-)	(13)	(13)	(-)	(-)	(-)	19
計	1,039	291	113	475	3	157	819	23	7	1	1	87	9	5	1	5	(21)	(27)	(24)	(-)	(-)	(-)	81	

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

③平成 29 年度来所相談・訪問指導実施状況 (援助の内容別)

(単位:件※)

区分	総数	医学的指導	受療援助	生活指導	社会復帰援助	紹介連絡	方針協議	その他
来所	371	46	5	43	18	83	118	58
訪問	668	16	41	398	30	1	115	67
計	1,039	62	46	441	48	84	233	125

※⑤精神科医師による相談件数を含む。

④平成 29 年度電話相談件数

(単位:件)

区分	精神保健福祉相談
男	983
女	1,765
不明	25
計	2,773

⑤精神科医師による相談

(単位:件)

年度	件数
平成 27 年度	23
平成 28 年度	46
平成 29 年度	25

(2)精神科医療等

①医療保護入院に伴う市長同意状況

精神保健福祉法第33条第1項の規定による「医療保護入院」が必要であると認められた精神障害者に家族等がないとき、又はその家族等全員がその意思を表示することができないときは、同法第33条第3項の規定により市長が同意者となり、医療保護入院している。

医療保護入院に伴う市長の保護者同意件数

(単位:件)

年度 \ 区分	依 頼	同 意	取下げ・却下
平成 27 年度	2	2	—
平成 28 年度	9	9	—
平成 29 年度	5	5	—

②法 27 条の規定による精神保健指定医の診察等に係る申請・通報・届出状況

一般人の申請（精神保健福祉法第 22 条）、警察官の通報（同法第 23 条）、精神科病院管理者の届出（同法第 26 条の 2）並びに医療観察法指定通院医療機関の管理者及び保護観察所の長の通報（同法第 26 条の 3）があった場合は、千葉県習志野保健所に連絡・報告し、必要に応じて県保健所職員に同行した。

法 27 条の規定による精神保健指定医の診察等に係る申請・通報・届出状況

(単位:件)

年度 \ 区分	一般人 (22 条)	警察官 の通報 (23 条)	警察官の通報内訳		精神科病 院管理者 の届出 (26 条の 2)	医療観察法指 定通院医療機 関の管理者等 (26 条の 3)
			船橋警 察 署	船橋東 警察署		
平成 27 年度	—	166	42	124	—	—
平成 28 年度	—	346	83	263	—	—
平成 29 年度	—	211	93	118	—	—

### ③入退院届出等の状況

管内にある3つの精神科病院から入退院（任意入院を除く。）の届出等を受け、県へ提出した。

#### 入退院届出等の状況

(単位:件)

年度	医療保護入院届		応急入院届		医療保護入院者の退院届	措置症状消退届	措置入院定期病状報告書	医療保護入院定期病状報告書
	指定医	特定医師	指定医	特定医師				
平成27年度	750	5	3	-	746	44	8	425
平成28年度	802	4	4	-	785	49	2	461
平成29年度	917	9	6	-	900	60	5	459

※管内3病院のうち、2病院が応急指定および特定病院の認定を受けている。

※平成26年4月の精神保健福祉法改正により保護者制度が廃止された。

### (3)市長による成年後見人申し立て及び成年後見制度利用支援

成年後見人が必要にもかかわらず、身寄りがいないなどの理由により成年後見人の申し立てができない精神障害者に対して、市長が家庭裁判所に成年後見開始の申し立てを行った。また、申し立て費用や後見人に報酬を支払うことが困難な者に、費用の一部を助成した。

#### 市長による成年後見人申し立て件数

(単位:件)

年 度	申 立	審 判	報酬助成
平成27年度	7	6	7
平成28年度	2	2	16
平成29年度	5	5	16

### (4)精神障害者の社会復帰支援事業

回復途上の精神障害者の社会復帰の促進及び地域における自立と社会参加の促進を図り、社会生活への適応力を高めることを目的としてデイケアクラブを実施した。

#### デイケアクラブの活動状況

(単位:人)

年度	区分	開催回数	参 加 者					
			実 人 数			延 人 数		
			男	女	計	男	女	計
平成27年度		43	10	6	16	179	32	211
平成28年度		43	8	6	14	132	53	185
平成29年度		43	7	6	13	129	33	162

## 活動内容

月	プログラム内容
4	ステンシルタオル作り、話し合い、お花見（新宿御苑）
5	話し合い、心のふれあいフェスティバル、料理
6	ユニカール、ゲーム、話し合い、DVD鑑賞、卓球交流大会
7	ペタンク、暑中見舞葉書作り、映画鑑賞、話し合い
8	大人の塗り絵、カラオケ、話し合い
9	ステンシル、勉強会、料理、話し合い、遠足（千葉ポートタワー）
10	ユニカール、ステンシルタオル作り、散歩、話し合い
11	心の健康フェア、料理、話し合い
12	ボウリング、年賀状作り、話し合い、忘年会
1	新年会、ペタンク交流大会、勉強会
2	パタパタ板返し、DVD鑑賞、話し合い、こころの広場交流会
3	茶話会、かるた、バスハイク（横浜中華街）

### (5) 普及啓発事業

精神障害者に対する偏見、差別の解消のため、正しい知識の普及啓発を目的に講演会を実施した。

#### 普及啓発講演会

年度	回数(回)	受講者数(人)	内容
平成 27 年度	1	116	演題「焦らない、押し付けない、異文化を楽しむ～大人の発達障害とつきあうための3つのヒント～」
平成 28 年度	1	42	演題「ギャンブル依存症について～治療法と解決に向けて～」
平成 29 年度	1	86	演題「それって本当にうつ病ですか？」

### (6) 家族支援事業

精神障害者を抱える家族の不安軽減、適切な治療環境づくり及び社会復帰の促進や家族同士の支えあい、交流の場を設けることで、家族の孤立感を軽減し家族が元気になることを目的に、こころの家族交流会、家族のための学習会を実施した。

#### ① 家族教室（平成 28 年度まで）

年度	回数(回)	受講者数(人)	内容
平成 27 年度	3	29	講演「統合失調症について」
		25	講演「統合失調症と家族の関わりについてパートⅠ」
		23	講演「講演パートⅠをもとに家族の関わりを共に考える」

平成 28 年度	3	47	講演「統合失調症の基礎知識と患者との関わり方について」
		28	講演「こころの病を抱えた人への家族の関わり方」
		25	講演「家族の関わりを共に考える」

## ②こころの家族交流会

年 度	回数 (回)	受講者数(人) ※延数	内 容
平成 28 年度	2	31	市内家族会会員が当事者家族を迎え、家族同士で日頃の体験、悩んでいることや思っていることなどを自由に話しあい、共有する。
平成 29 年度	2	32	市内家族会会員が当事者家族を迎え、家族同士で日頃の体験、悩んでいることや思っていることなどを自由に話しあい、共有する。

## ③家族のための学習会

年 度	回数 (回)	受講者数(人) ※延数	内 容
平成 28 年度	全 5 回	27	市内家族会と NPO 法人地域精神保健福祉機構との共催で、研修を受けた家族会会員が参加家族と共に、テキストの輪読と体験等の意見交換を行う。
平成 29 年度	全 5 回	108	統合失調症を抱える方の家族を対象に、疾病の理解や対応の仕方、当事者による体験談、参加者同士の意見交換を行った。
	全 3 回	20	アルコール問題を抱える方の家族を対象に、疾病の理解や対応の仕方、当事者による体験談、参加者同士の意見交換を行った。

## (7)船橋市地域活動支援センター

障害者総合支援法第 5 条第 27 項の規定に基づき設置し、相談支援事業、地域生活支援事業等を実施した。

○所 在 地：北本町 1 - 16 - 55 保健福祉センター3 階

○指定管理者：NPO 法人 船橋こころの福祉協会

○内 容：週間プログラム（生産活動、創作的活動、パソコン教室、料理、スポーツ）、フリースペース、電話相談、来所相談、指定相談支援事業

○平成 29 年度実績

- ・ 来所相談 628 件
- ・ 訪問相談 994 件
- ・ 通所者延人数（日常生活支援事業対象者） 4,758 人
- ・ 指定相談(特定)支援事業利用者数 131 人

## (8)船橋市精神保健福祉推進協議会

医師会、医療機関、家族会、福祉関係学識経験者を委嘱して、精神障害回復者が社会復帰するために必要な福祉施策を推進し、市民の精神保健の増進を図るための事業を実施した。

○開催回数：委員会2回 幹事会4回

○実施事業

### ①第22回精神保健福祉ボランティア養成講座

開催期間：平成29年10月5日～12月7日（9回講座）

内 容：講義、当事者・家族の話、見学実習等

修了者：16人

### ②第10回スポーツ交流大会（卓球）

開催日：平成29年11月7日

場 所：総武病院 体育館

内 容：卓球競技、交流レクリエーション

参加者：83人

### ③第28回こころの広場交流会

開催日：平成30年2月2日

場 所：高根台公民館

内 容：活動等発表、作品展示ほか

参加者：232人

### ④第19回心の健康セミナー

開催日：平成30年3月15日

場 所：保健福祉センター

内 容：演題「思春期って不思議！」～子離れと精神保健～

参加者：97人

### ⑤冊子「市民のためのこころの健康・No.30」刊行

発行年月日：平成30年3月8日

発行部数：6,000部